

ボクたちの ソファ



さく・え おちあい ひさえ



ソファでゴロゴロすると
そこはふんわりして、あたたかい
ボクたちはソファが大好きだったんだ

でも
しばらく

お別れだ



ボクたちのソファ





ぼくと
たつくと
ピーちゃんは
パパとママといっしょに
森の中のちいさなおうちに
引越した



「さあ 今日からここが新しい家だよ」
おひさまはニコニコしていて
パパはまぶしそうに
空を見上げた





パパとママは
片付けでいそがしい

だから
ボクたちは まいにち
ほうっておかれていたんだ





部屋にたかくつまれた
ダンボール箱は山みたい
『とりでごっこ』をしたけど
ボクたちは すぐに あきてしまった
やる事がなくなると
ソファでゴロゴロしたくなる

ソファはどこにあるのだろう？
ソファはみあたらない
ソファはなくなってしまった



やっと ソファをみつけた
だけど
ダンボール山の奥のほうだ
近づくこともできない



そうだ！

森にいけば

ゴロゴロできる すてきな場所が
あるかもしれない

ボクたちは

パパとママにないしょで

冒険の旅にでかけることにした



お花畑を走った
黄色い花が　じゅうたんのよう
ひろがっている



ボクたちは 黄色いじゅうたんの上で
ゴロゴロしたくなった
けど
ねころんたら
お花は見えない





鳥さんが枝のソファにいる
ボクたちは まねして
木の葉をあつめて
ソファをつくってみたけど



ねころんだら
・・・うもれてしまった



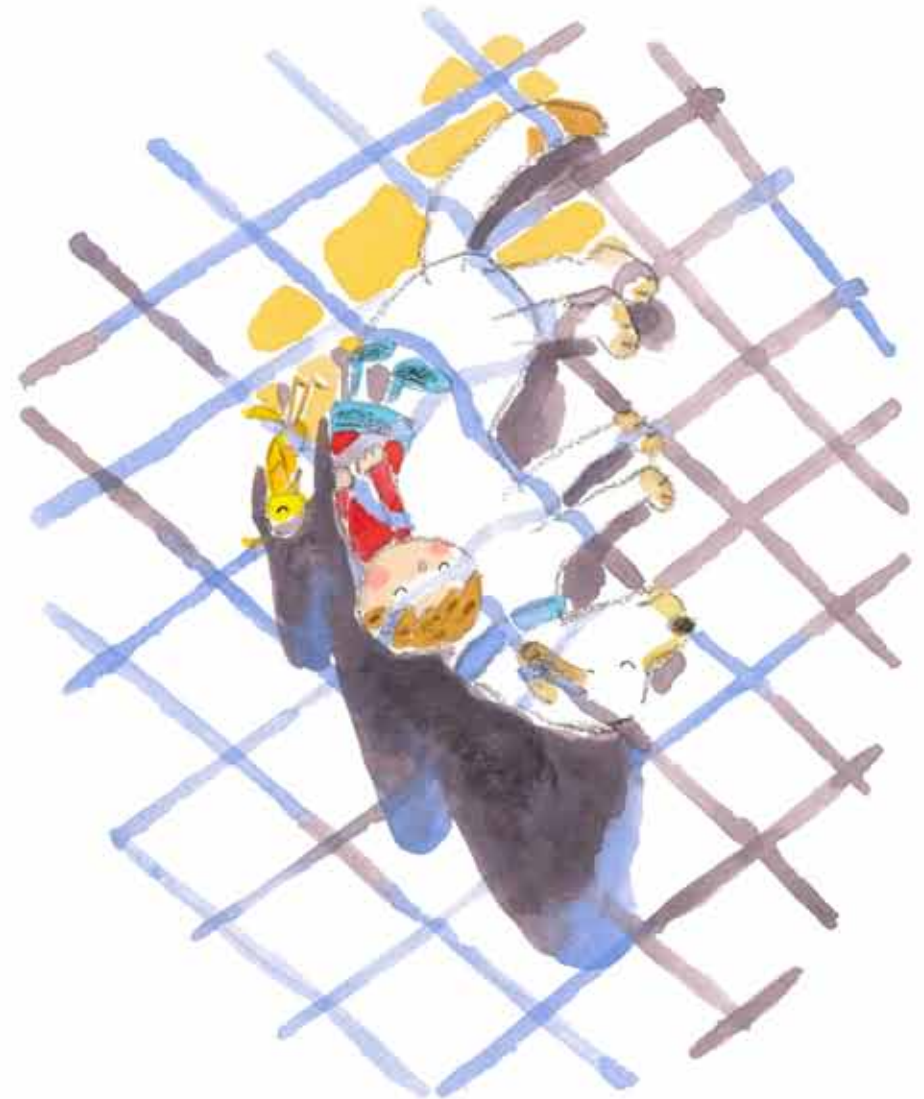


網の上で クモが風にゆれていた
網はゆらゆら ハンモックみたい
とても気持ちよさそうだ

ボクたちは まねして
影法師の網の上に ねころんだ



とてもかたいし ぜんぜんゆれない
あー がっかり
ボクたちは つかれて
地面で寝てしまったんだ



ふんわりしたソファの夢を見た
夢の中で ママがブランケットを
かけてくれた
黄色いお花がいっぱいだ



ソファがあれば
みんなと いっしょに
ゴロゴロできる



みんなと いっしょに いたいんだ



「さあ 帰りましょう」
目を覚ますと
パパとママがむかえにきていた



次の日には
ボクたちのソファは
部屋の真ん中に
おかれていた



ダンボール山にかこまれて
谷底みたいに せまかったけど
ボクはしあわせな気持ちになった
みんないっしょに ゴロゴロ



ひだまりに いるみたいに



2015 年 2 月 22 日発行

著者 落合久恵

発行者 株式会社 NOYES

第 3 回 NOYES 絵本コンクール 大賞作品